



提出 令和7年5月28日

一般質問通告書

☐一括方式

☒一問一答方式

質問

順番

2

東海村議会議長 河野 健一 様

議席番号 13 番 議員氏名 岡崎 悟

質問事項 (件名)	シビックプライドの醸成について	答弁者
要旨（具体的に） まちづくりの羅針盤、ビジョン1、テーマ「人口減少対策」で、重点政策パッケージの中の【ビジョン実現のための方向性】3と【村（行政）が行う施策・事業の方向性】2に、シビックプライドの醸成という表現がある。シビックプライドは、村民の共通認識として理解されることで、本来持つ意味が発揮できるものになると考える。村民の多くがシビックプライドの醸成について理解しなければ、村民の行動の変容はなかなか起きない考える。本村が目指すシビックプライドの醸成について、考えを伺う。		

質問事項 (件名)	コミセンと庁舎に給水スポットの設置を	答弁者
要旨（具体的に） 現在、石神・白方・村松コミセンでは、業者の都合により自動販売機が撤去されたと聞いている。一部のコミセンではポットとアイスコンテナジャグが置かれ、自由にお茶等が飲めるようになっている。これから夏に向け、熱中症対策を考えると不安である。熱中症対策に効果のある飲料水の温度は、5度から15度で、冷たい水は深部体温を下げる効果があり、胃にとどまる時間が短く、水を吸収する器官である小腸に速やかに移動すると言われている。そのため、熱中症に有効な冷水が補給できる給水スポットの設置が必要と考える。コミセンの自動販売機撤去は残念だが、給水スポットによるマイボトルの取組をダイナミックに進めるチャンスでもある。マイボトルの推進によるプラスチックごみの削減と環境負荷の軽減は行政として避けて通れない。コミセンや庁舎への給水スポットの設置について、本村の考えを伺う。		

氏 名	岡崎 悟	No. 2
-----	------	-------

質問事項 (件名)	母乳バンクについて	答弁者
要旨（具体的に） 母乳バンクは、ご自身のお子さんが必要とする以上に、母乳がたくさん出るお母さんドナーから、寄附していただいた母乳を適切に低温殺菌処理して、細菌検査を行い冷凍保管した後、NICU（新生児集中治療室）の要請に応じて、「ドナーミルク」として早産 1500g 未満の極低出生体重の赤ちゃんに提供する取組である。母乳は、早産や極低出生体重で生まれた赤ちゃんの腸を、成熟させてくれる物質を含んでいるが、早産の場合、何らかの理由で母乳が出ない、または出ても赤ちゃんに与えられないケースがある。そんな時、母乳をあげられるようになるまでの間をつなぐのが「ドナーミルク」である。体重 1000g に満たない未熟な赤ちゃんが助かる時代になったが、そのような赤ちゃんの生死に関わるのが壊死性腸炎という腸の一部が壊死してしまう病気である。壊死性腸炎は、母乳で育てた時よりも粉ミルクで育てた時の方が、高い確率で起こることが分かっている。ドナーミルクは早産や極低出生体重の赤ちゃんの腸を少しでも早く成熟させ、赤ちゃんの命と将来にわたる健康を促進する役割を担っている。 ①本村は母乳バンクの取組をどのように認識しているのか伺う。 ②本村における 2500g 未満の低出生体重児と 1500g 未満の極低出生体重児のこれまでの出生数の推移と割合を伺う。		

質問事項 (件名)		答弁者